

特集 世界遺産

皆さんは世界遺産のことをご存じですか？

世界中のあらゆる地域には、国や民族が誇る文化財や自然環境があります。世界遺産とは、現代を生きる世界のすべての人びとが共有し、未来の世代に引き継いでいくべき人類共通の宝物のことです。

そこには、国境という概念はありません。自国の文化と歴史を愛することは、他国の文化と歴史を理解し、尊重することへとつながっているからです。それらの歴史的に重要な建築物や貴重な自然を未来に残すことが現代に暮らす私たちの使命の一つです。（日本ユネスコ協会連盟のホームページより）

世界遺産とは・・・世界遺産条約に登録されたもの

世界遺産条約は正式には「世界の文化遺産および自然遺産の保護に関する条約」といい、1972年の第17回ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）総会で採択されました。これは従来別々に捉えられてきた自然と文化を、同じ一つの条約下で保護することを目的とした国際条約です。この条約に基づいて作成されるのが「世界遺産リスト」で、これに記載（登録）されたものがすなわち、「世界遺産」ということになります。

「文化遺産」・・・優れた普遍的価値をもつ建築物や遺跡など

「自然遺産」・・・優れた価値をもつ地形や生物、景観などを有する地域

「複合遺産」・・・文化と自然両方の要素を兼ね備えているものに分類されます。

2003年7月現在、世界遺産リストに登録された文化遺産は582、自然遺産は149、複合遺産は23の総計754件です。これらの世界遺産物件をもつ国は129カ国です。また、このうち特に武力紛争、自然災害、大規模工事、都市・観光開発、商業的密猟などによって、その普遍的価値を損なうような深刻な状態の遺産があります。これを危機遺産として登録しています。危機遺産は35件あります。

現在日本の世界遺産は、文化遺産・・・9件、自然遺産・・・2件 の計11件です。

文化遺産 法隆寺地域の仏教建造物群 1993 姫路城 1993
古代京都の文化財（京都市、宇治市、大津市） 1994
白川郷と五箇山の歴史的集落群 1995 広島平和記念碑（原爆ドーム） 1996
厳島神社 1996 古代奈良の文化財 1998 日光の神社群や寺院群 1999
琉球王国のグスク遺跡群と関連する遺産群 2000
自然遺産 白神山地 1993 屋久島 1993

世界で最も世界遺産の多い国はスペインで37件（文化34、自然2、複合1）、次いでイタリア36件（文化35、自然1）となっています。アジアでは中国が29件（文化21、自然4、複合4）、インドが24件（文化19、自然5）となっています。

手元にスペイン、イタリア、ポルトガルの世界遺産の写真がありますので紹介します。



スペイン：古都トレド



イタリア：ミラノ



ポルトガル：シントラの文化的景観



同：リスボンのジェロニモス修道院

サンタ・マリア・デレ・グラッツィエ教会（レオナルド・ダ・ビンチの「最後の晩餐」がある）